

(施設所管課記入様式)

歴史民俗資料館及びふれあいルーム 内部評価結果 (施設所管課による評価)

【評価対象施設】 歴史民俗資料館・ふれあいルーム

【指定管理者名】 株式会社 アステム

【評価対象年度】 令和3年度

【施設所管課名】 産業・文化部 生涯学習課

業務内容について評価

令和3年度も、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大により、施設の臨時休館や開館時間の短縮等が行われ、事業計画の縮小を余儀なくされましたが、感染症対策を講じながら様々な事業を実施されたことにより、歴史民俗資料館・ふれあいルームのいずれも、来館者数・利用者数が前年度から増加に転じることができました。

歴史民俗資料館においては、緊急事態宣言に伴う臨時休館のため、春季展が1週間だけの開催となりましたが、3回の企画展とそれに伴う講演会を開催したほか、市や平野屋新田会所市民サポーター会議との共催による平野屋新田会所に関する企画展や、大東の歴史と防災に関するミニ展示、市民学芸員活動や、他施設との連携事業、小学校への出張授業等の事業を積極的に実施されました。秋季展では、御供田地区の歴史について地域史料を用いて多角的に紹介するとともに、御供田村の古文書に関する講演会も開催し、地域住民から好評を得ることができました。また、YouTubeでの動画配信を初めて行うなど、オンラインを活用した事業にも取り組まれました。

今後も、生涯学習課や様々な施設・団体と連携しながら、幅広い世代の市民に関心を持っていただくため、様々な地域・時代を取り上げた展示や講座等を企画・実施するとともに、市民参加型のワークショップ等の事業についても積極的に取り組まれることを期待します。

ふれあいルームにおいては、図書館や公民館との共催事業のほか、子ども向けのミニチュア粘土教室や認知症サポーター養成講座、救命救急講習など、生活や健康に密着した事業に取り組まれ、いずれも参加者から高評価を得ることができました。今後も利用者のニーズを的確に把握し、幅広い世代を対象にした体験事業や講座等に取り組まれることを期待します。

施設維持保全業務や施設修繕については、仕様書にもとづき適正に実施されてきました。建物の老朽化が進行しているため、修繕必要箇所の把握と迅速な復旧修繕を行うとともに、利用者に安全快適に使用していただけるよう備品等の日常的な点検についても遺

漏なく行ってください。

利用者満足度について評価

利用者アンケートでは、来館者対応や施設の案内表示、事業内容等について全体的に高い評価を得ています。一方で、歴史民俗資料館の事業やふれあいルームの有料貸出については依然として認知度が低い状況です。

今後もリピーターに満足していただけるような質の高い事業を実施するとともに、館内掲示の強化や SNS 等を活用した情報発信により、施設の認知度の向上と新規利用者の増加に努めてください。

収支状況について評価

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館や開館時間の短縮等により、利用料金収入や自動販売機手数料、駐車場利用料金が減少しましたが、清掃員・警備員の配置時間の変更や雇用調整助成金を活用した人件費の削減等の努力により、市からの補填料を含めると、黒字を実現することができました。

令和4年度も、万全な感染症対策を講じながら、魅力的な事業の実施により利用者の増加を図るとともに収支のさらなる改善にも努めてください。

総合評価

本市の文化・歴史に対する市民の誇りを醸成し、次世代に継承していくうえで、歴史民俗資料館の役割はきわめて重要です。令和3年度も、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、事業運営に大きな制約が課されましたが、指定管理者がこれまで蓄積してきた豊富な経験とノウハウを活かし、幅広い世代を対象にした企画展・講座や市民学芸員活動、他施設・学校等との連携事業を実施されたほか、オンラインを活用した情報発信にも取り組まれたことを評価します。

令和3年度に飯盛城跡が国史跡に指定されたことにより、市内外から多くの城郭ファンが来館するようになってきていることから、常設展示の定期的な更新や情報発信の強化により、リピーターだけでなく新規来館者にも満足していただけるよう努めてください。

また、ふれあいルームでは、創意工夫による自主事業を行った結果、参加者から高評価を得ることができました。今後も、生涯学習に対する市民のニーズの把握に努め、関係施設・団体とも連携しながら、幅広い世代に満足していただける魅力的な事業を展開されるとともに、SNS等を活用した情報発信を強化することにより、新規利用者の増加にも一層努めてください。